

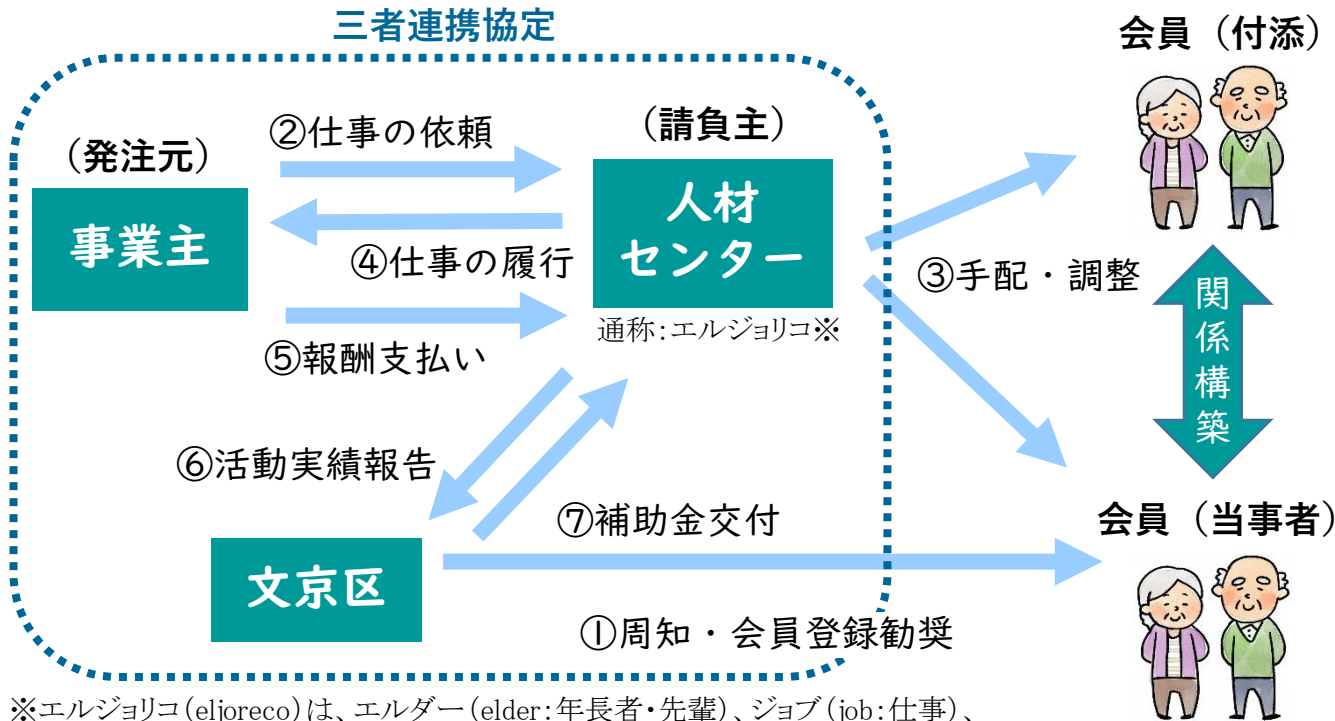
## 1. 背景・課題

これまで「『チームオレンジBunkyo』サポーターによる認知症に優しいまちづくり」に取り組んできているが、**認知症への理解**や「**地域共生**」に係る**啓発**をさらに強化していく必要がある。

## 2. スキーム

**【One Point!】** 区・人材センター・事業主の三者で**チームオレンジお助け隊活動の「連携協定」**の締結

### 三者連携協定



※エルジョリコ (eljoreco) は、エルダー (elder: 年長者・先輩)、ジョブ (job: 仕事)、リコレクション (recollection: 回想・記憶) を掛け合わせた造語

## 3. 事業効果

### ① 社会参加の場の創出

認知症になっても自分らしく、いきいきと活動できる多様な社会参加の場の創出につながる。

### ② 地域共生社会の推進

認知症当事者と他の会員が、ともに個性や能力を発揮しながら地域で活動することで、「地域共生社会」の実現につながる。

### ③ 認知症に優しいまちの啓発と機運の醸成

本事業が地域に浸透し、拡大していくことで、区民や区内企業に対し、認知症に優しいまちの理解の促進や機運の醸成につながる。

「**就業**を通じた**認知症に優しいまちの啓発**」と「誰もが参画できる**“ごちゃませ”**の**地域共生社会の推進**」へ